

3 教育相談訪問研修 実施要項

- 1 **趣旨** 学校の要望に応じて、教育相談や生徒指導に関する研修を実施し、指導力の向上に資する。
市町教育センター等の要望に応じて、教育相談や生徒指導、特別支援教育等に関する研修を実施し、指導力の向上に資する。
- 2 **主催（主管）** 富山県教育委員会（富山県総合教育センター教育相談部）
- 3 **期日・会場** 【期日】 富山県総合教育センター職員が訪問可能で、学校・教育機関・各種教育団体が希望する日
【会場】 各学校、市町教育センター等
- 4 **受講対象者** 教員（公、私、国）
校種（幼、小、中、高、特）
・市町教育センター、小・中・高教研等の各種教育団体も対象とする。
- 5 **日程・内容**

① 令和5年度/**/**（*） ※随時又は選択した研修会の日程・内容による。	
全日	時間
	研修内容（学校等のニーズに応じて研修内容、研修時間を設定） ○教育相談や生徒指導に関する研修 ・児童生徒理解とその対応 ・児童生徒が抱える問題から学ぶ事例検討 ・チームによる支援を促進するエピソードプロセスを用いたケース会議 ・教育相談部で相談を受けている児童生徒についてのケース会議 ○児童生徒の人間関係にはたらく育成プログラムを用いた研修 一人一人の持ち味を生かした学級集団づくりや、自分らしさに気づき、自分の思いや考えを伝えられるコミュニケーション等、学校等の課題に応じて、育成プログラムを用いながら、要望にそって共に考え研修をつくります。申込み毎にプログラムを作成し、学校での実践を支援します。 ＜育成プログラムについて＞ ・社会的行動を含む集団でのゲームを楽しみながら、他者とのかかわりの中で自分らしさに気づき、教師や児童生徒相互の人間関係を促進します。 ・人とかかわるためのはたらきかけややりとりの方法を、ソーシャルスキルを手がかりに体験します。 ・自分も人も尊重するアサーティブな自己表現についての考え方や表現方法を、体験を通して学びます。 ・自分を苦しめているストレスに気づき、ストレスとうまく付き合う方法について考えます。 ・「いま、ここ」の自分の感情に気づくマインドフルネスなワークの体験によって、あるがままの自分らしさを見つけます。 ○教師のためのメンタルヘルスに関する研修 ・自分も相手も尊重しよう～アサーティブな考え方と自己表現～ ・みんなで知恵を出し合おう～インシデント・プロセス法を通して～ ・やわらかく考えよう～考え方の「くせ」を見つけて心を楽し～ ・自分の気持ちを話そう～グループ活動でふれあいと自己発見～ ・あたたかくやりとりしよう～ソーシャルスキルを意識して～ ・あるがままの自分を感じよう～セルフ・エモーション・アプローチ体験～ ○特別支援教育に関する内容 ・障害の理解や対応に関する講座 ・実態把握や指導目標設定の演習 ・事例検討 ※ 市町教育センター、小・中・高教研等の各種教育団体が開催する教職員対象研修会が対象

6 申込要領

- ・申込みは随時受け付ける。
- ・事前に電話で日時、内容を相談の上、申込書（様式4）で教育相談部へ直接申し込む。
- ・申込書は、メールに添付又は郵送、FAXで送付する。
- ・受講履歴として残す場合は、研修受講システムで実際に参加した者を学校で登録する。